

こんにちは！女性交流センターです。市民会館3階で、女性のための相談窓口を開設しています。今回は6月23日～29日の「男女共同参画週間」や、女性交流センターで読める新しい本についてお知らせします。ぜひご覧ください。

女性のための相談窓口があります

女性交流センターでは、女性の様々な問題（悩み）に関する相談を実施しています。お気軽に市民会館3階の女性交流センター（TEL：43-7800）までお電話ください。

女性問題相談

毎週火曜日から金曜日

午後1時～4時（祝日・年末年始除く）

電話または面接相談 ※予約は必要ありません

女性問題専門相談

毎月1回（原則第4木曜日）

専門カウンセラー対応 ※予約が必要です

①午後1時～ ②午後2時～ ③午後3時～

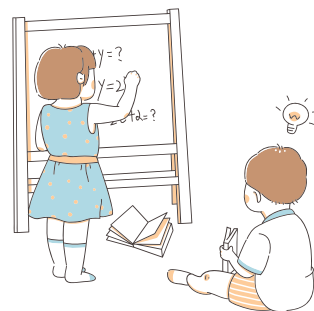
令和8年度の専門相談日

- ・6月25日（木）
- ・7月30日（木）
- ・8月27日（木）
- ・9月17日（木）
- ・10月22日（木）
- ・11月19日（木）
- ・12月24日（木）
- ・1月28日（木）
- ・2月25日（木）
- ・3月25日（木）

専門相談日に変更がある場合は、ホームページなどでお知らせします。右のQRコードからご確認ください。



相談中はお子さんをお預かりすることができます。お気軽にご相談ください。



男女共同参画週間です 6/23～6/29



今年度のキャッチフレーズは、

“あなたらしさが、社会のチカラ” です。

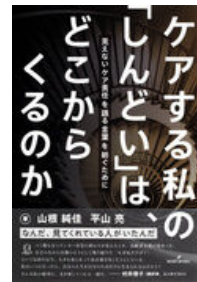
「男女共同参画社会」とは、だれもお互いの人権を尊重し、「女性」や「男性」というイメージにあてはめることなく、それぞれが持っている個性や能力を十分に発揮できる社会のことです。

期間の前後も関連する本の特設展を図書館・女性交流センターで開催していますのでご覧ください。（貸出も可能です）

女性交流センターには、男女共同参画等に関する図書・行政資料をそろえ、誰でも自由に閲覧できる情報図書コーナーがあり、本の貸し出しも行っていきます。また、活動や交流の場として利用できる会議室がありますので、ぜひご利用ください。



新しい本が入りました



『ケアする私の「しんどい」は、どこからくるのか』
山根純佳・平山亮／著

おすすめの貸出図書



『親が子どもになるころに』

細川 貂々／著
創元社／刊

映画にもなった漫画「ツレがウツになりまして。」の作者である細川貂々さんが親の介護に直面するというエッセイ漫画で

す。「ツレ～」と同様に重くなりがちなテーマですが、漫画なので読み易いです。

貂々さんのお父さんは遠距離で一人暮らしをしています。お父さんなりに日々の生活をこなしているつもりでしたが、貂々さんは彼が既に一人で社会生活を送ることが難しくなっていると知ります。

いきなり始まった介護。

お葬式・お墓・財産など準備していることはわかりましたが、お父さんの生活情報や介護知識等も詳しくありません。お父さんは保護される側で貂々さんはサポートをする立場に、親と子の立場が入れ替わってくることなど精神的な事も書かれています。

私も親と離れての暮しで、貂々さんと同じパターンになる可能性もあるかもしれない！どうしよう！と思いついたのがエンディングノートでした。（地域包括支援センターにあると知り、すぐ行って来ました。今更ですがエンディングノートはすばらしいです。）

親に、今後どう過ごしていきたいのか希望や不安を書いてもらう予定です。自分も老後どんなふうにご過ごしたいのかも考えさせられた本でした。（女性交流センター蔵書）



『窓をひろげて考えよう』
下村健一／著



『なぜ人は自分を責めてしまうのか』
信田さよ子／著

情報収集コーナーもあります

出産、育児、介護等のために一度退職し、再び就職などにチャレンジする方のための「あこう女性チャレンジひろばコーナー」では、求人情報や県の男女共同参画センターが実施するセミナーの情報などを手に取ることができます。



赤穂市女性交流センター

[受付時間] 火曜日～金曜日 13:00 - 16:00 (祝日・年末年始を除く)

☎43-7800

☎43-6810

〒678-0233 赤穂市加里屋中洲3丁目55 (市民会館3階)

🌐 www.city.ako.lg.jp/shimin/jinken/jyoseikouryucenter.html

